

 あさおの福祉

ほほえみ

第71号

編集・発行

社会福祉法人

川崎市麻生区社会福祉協議会

〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2

新百合21ビル1F 福祉パルあさお内

発行人: 山本 浩真 編集: 広報啓発部

TEL 952-5500 FAX 952-1424

URL www.kawasaki-shakyo.jp/asao/

mail info@asao-shakyo.com



麻生区社協
キューちゃん



麻生区社協

検索

社会福祉法人川崎市麻生区社会福祉協議会

平成31年度「賛助会員」大募集

～みんなでささえる みんなのふくし～

みんなでささえる
みんなのふくし



賛助会員を募集しています。
詳しくはホームページへ

賛助会員は、麻生区社会福祉協議会及び麻生東地区社会福祉協議会、柿生地区社会福祉協議会の活動の趣旨に賛同いただき、その活動を資金面から支えていただく方々のことをいいます。賛助会員からいただく賛助会費は、特に地域住民や地域のボランティアなどで組織された地区社会福祉協議会の重要な活動資金となっています。皆さまのご協力をどうぞよろしくお願い致します。

賛助会費 1口 1,000円 (年会費)

重点募集期間 2月1日～2月末日
※上記期間以外も受付しています。

加入方法 町会・自治会を通じた加入、または、社会福祉協議会の窓口にて受付いたします。詳細はお問い合わせください。

電話 044-952-5500

平成30年度 実績 (平成30年度事業の実施のために、ご協力いただいた賛助会費です。)

賛助会費 6,663,730円

平成30年度、ご協力いただいた賛助会費はこのような事業に使われています。



住民の皆さま

賛助会員による賛助会費

麻生区
社会福祉
協議会



2つの地区社協へ
それぞれ70%の
賛助会費を配分

麻生区社会福祉協議会

「地域の関係づくりの大切さを考える講演会」の開催



在宅福祉サービス部主催で、日ごろからの地域のささえあいや助けあいの大切さを考え、共生意識の醸成のため、毎年、実施をしています。

平成30年度は、「人生100年時代を地域で生きるには」をテーマに実施し、153名の参加があり、会場が熱気に包まれました。

麻生東地区社会福祉協議会

【女性幼児福祉部会】
親子でさつまいも・落花生掘り



3歳～5歳のお子さんを持つ親子を対象に、さつまいも・落花生掘りを実施しています。今年度は天候にも恵まれ、62名の親子が参加しました。子どもとふれあいながら楽しく秋の味覚を収穫できる機会であり、毎年すぐに定員に達してしまう人気のイベントです。

柿生地区社会福祉協議会

【地域子育て委員会】ムーブメント教室
未就園児の親子を対象に、ムーブメント教育・療法についての体験教室を開催しました。



【青少年福祉委員会】親子の食育講演会
小学生の親子を対象に食育の一環として、郷土料理などの料理教育を開催しています。



第29回 あさお福祉まつり 来て!見て!つなごう心の輪

第15回 麻生区社会福祉大会

平成30年11月11日(日) 10時から15時に、麻生区役所・麻生市民館周辺で第29回あさお福祉まつりを開催しました。麻生区内の地域福祉活動に携わる75団体が参加し、日ごろの活動の紹介や、福祉の啓発活動、高齢者疑似体験や手話体験などの体験コーナーを通じて、麻生の福祉の輪を広げる活動を行いました。当日は晴天にも恵まれ、約6,900名の方にご参加いただき大盛況でした。



第15回麻生区社会福祉大会では、これまで地域福祉の発展に貢献をしていただいた方の表彰を行いました。

鷹取 順子 様	麻生区社会福祉協議会の理事や在宅福祉サービス部の副部長、ふれあいいきいきサロンの代表として、ボランティア活動を行うなど、地域の最前線で活躍をされています。
鈴木 正視 様	麻生区社会福祉協議会の評議員、柿生第3地区民生委員児童委員協議会会長、五力田町内会会長などを長年にわたり務め、区内の地域福祉推進に様々な形で、幅広く活躍をされています。



表彰された皆様

■ボランティア活動 個人・団体

ふきのとう 様	5年以上毎月かかさず、童謡や懐かしい曲等をオカリナで演奏されています。色々と楽しめるように創意工夫を行うなど、長年にわたり、ボランティアグループとして、活躍されています。
丸山 律子 様	ボランティアで、5年以上毎月、1回、ダンスの指導をされています。障害のある利用者に音楽に合わせて踊る楽しさを教えてくださっています。
フラバース 様	平成21年9月より、月に1回、フラダンスをボランティアで披露されています。披露をするだけでなく、楽しいお話や健康体操を交え、利用者みなさんに、元気をお届けする活動をされています。

水原 元子 様	ぐるーぷもここのメンバーとして、手作りの布絵本や布おもちゃを作り、障害をもつ子どもたちにプレゼントする活動をされています。
松下 元子 様	人と会い、話を聞いてもらうことで気持ちがほぐれるのではないかと考え、傾聴講座を受講され、麻生区の仲間とともに、「傾聴あさお」を立ち上げ、傾聴ボランティア活動をされています。

■多額の寄付をされた個人または団体

セレサ川崎農業協同組合
ゆりストア

共同募金会川崎市麻生区支会からのお知らせ

赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金へ
皆様のあたたかいご協力 ありがとうございます。



共同募金
シンボルキャラクター
愛ちゃん・希望くん

◆赤い羽根共同募金

麻生区でご協力いただいた「赤い羽根共同募金」は、神奈川県共同募金会にてとりまとめられ、平成31年度の麻生区内及び神奈川県内の地域福祉をすすめる団体や、民間福祉活動を推進する団体に活用されます。

◆年末たすけあい募金

麻生区内でご協力いただいた「年末たすけあい募金」は、全て麻生区内の地域福祉をすすめる事業に活用されています。

民生委員児童委員の皆さまのご協力により、区内の福祉ニーズを持つ世帯へ「年末慰問金」の配布や、麻生区社会福祉協議会を通じて、平成31年度の様々な地域福祉活動の推進に役立てられます。

平成30年度 赤い羽根共同募金・
年末たすけあい募金 実績報告

区分	赤い羽根共同募金	年末たすけあい募金
戸別募金	6,080,543	5,254,687
街頭募金	726,684	0
法人募金	566,300	0
校内募金	272,479	0
職域・その他募金	433,349	0
イベント募金	56,511	0

平成30年12月31日現在

◆街頭募金

10月上旬を中心に区内の駅前で、街頭募金を実施しました。64団体、433名の方にボランティアとしてご協力をいただきました。



◆赤い羽根deティータイム

があでん・らららと協働で、赤い羽根型のクッキーと、オリジナルブレンドのハーブティーをセットした寄付つき商品を開発しました。福祉まつりなどで協力を呼びかけ、大好評でした。





子育て支援部会からの報告とお知らせ



子育て支援部会では、子育ての悩みや課題解決のための講座・交流会等を企画・実施し、地域で安心して子育てができる環境づくりを目指しています。

【お知らせ】子育て支援講座

「迷える?子育て～小学生の心と親のきもち～」

「子どもとどう関わっていいのかわからない」「ついつい問い詰めてしまって…」「小さい時は相談できる場所もたくさんあったのに…」など、日頃子育てで悩んでいることはありませんか?

小学生のお子さんがある親御さんに向けて、子どもとの関係性について考える講座を開催します。子育て支援に関わる方の参加も大歓迎です。

日時: **平成31年2月28日(木)午前10時～12時** **参加費無料**

会場: 麻生区役所 第1会議室

定員: 80名(事前申込、応募多数の場合は抽選)

申込方法: メール・電話・FAX・郵送・来所のいずれかにてお申込みください。
1月7日(月)～2月22日(金)まで



申込み
問い合わせ先

川崎市麻生区社会福祉協議会
〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル1階
TEL: 044-952-5500 FAX: 044-952-1424
メール: kouza@asao-shakyo.com

【活動のご報告】

ペアレントトレーニング

「～見直してみよう～うちの子って～」を開催しました

ペアレントトレーニングは、未就学のおさんのいる親御さんに向けた講座です。講師に国学院大学・十文字学園女子大学兼任講師の石井栄子先生とNPO法人乳幼児親子支援研究機構 副理事長の小山孝子先生を迎え、毎回笑いの絶えない楽しい講座となっています。毎年大好評で、今年で9年目を迎えました。



在宅福祉サービス部会からの報告

【活動のご報告】

川崎市麻生区社会福祉協議会 在宅福祉サービス部会主催 平成30年度 「地域の関係づくりの大切さを考える講演会」 人生100年時代を地域で生きるにはを開催しました



平成30年10月11日(木)麻生区役所第一会議室にて、「おひとりさまの終活」「男おひとりさま術」などの著者である、ノンフィクションライターの中澤まゆみ氏をお迎えして、「人生100年時代」と言われる中で、地域でより良く生きていくために大切なことについてお話いただきました。

講演の前半は「おひとりさまの終活」についての話。人生100年時代と言われても、大切なのは「平均寿命」を延ばすのではなく、「健康寿命」を延ばすこと。老後をいきいきと元気に暮らすための「高齢者福祉の3原則」の話もありました。①自分で決めること②自分自身のもてる力を出しきること③生活を不連続にしないことの三つだそうです。

後半は地域との関係についての話。ソーシャル・キャピタル(=社会・地域における人々の信頼関係や結びつき)が豊富な地域ほど住民の健康度は高いと言われているそうです。すなわち「住民活動が盛んな地域は、住民の健康度も高い」と言うことです。

地域のつながりがなぜ大切なのか?家族の力だけで、ケアを支えることは不可能です。今は「元気中年・元気老人」でも、いずれは「病气老人」「要介護老人」となっていきます。地域の様々な支援者や、人的資源とつながること、「支援する⇔支援される」という関係

ではなく「おたがいさま」の関係性の中でささえあう社会が本当の共生社会と言えるのではないか?とのことでした。

これからのまちづくりで必要なのは

- ①ちょっとずつのおせっかい
 - ②できることを、できるだけ
 - ③子ども、障害者、高齢者も地域の「資源」になる社会
- キーワードは「仲間」「居場所」「役割」「参加」

私たち、一人ひとりの心がけが大切であることを教えていただきました。

川崎市麻生区社会福祉協議会 在宅福祉サービス部会では多様なニーズをお持ちの方々も安心して暮らしていける地域社会を目指して、今後も様々な地域福祉にかかわる情報を皆様に発信していきたいと思っております。



麻生区社協
ボランティア
活動振興センター

ぼらぼら

第39号

平成30年度

「麻生区ボランティアのつどい(交流会)」を開催します!

ボランティア活動をしている皆さまや、福祉施設などのボランティア受入担当の方が集まる交流会を開催します。今回は「麻生区をボランティアで輝かせよう!~ボランティアができること~」をテーマに、「暮らしやすい麻生区」について、楽しく考えていきます。今後につながる機会となりますので、ぜひご参加ください。



日 時: 平成31年2月13日(水)午後2時~午後4時45分
日 場: 麻生区役所4階第1会議室
 (お車でのご来場はご遠慮ください)
定 員: 100名
共 催: 田園調布学園大学地域交流センター
協 力: あさおボランティア・当事者連絡会
申込方法: 電話・FAX・メール・来所のいずれかにて
 お申込みください。
申込締切: 2月6日(水)
問 合 せ: 麻生区ボランティア活動振興センター
 TEL: 952-5500 FAX: 952-1424
 メール:kouza@asao-shakyo.com

ボランティア基礎講座を開催しました!

7月21日(土)にボランティア基礎講座を開催し、35名の方にご参加いただきました。今回は講師に田園調布学園大学の和秀俊先生を迎え、「あさおの地域福祉をデザインしよう!~ボランティアの魅力発見~」をテーマに、ボランティアの定義や実例を交えながらいろんなボランティア活動があることを学びました。後半はボランティア相談コーナーのロールプレイを行いながら、ボランティア体験プログラムの活動紹介をしました。



〈参加者の声〉

- ・たくさんのボランティアがあることが分かりました。自分に合う(出来そうな)ことに、第一歩を踏み出してみようと思います。
- ・ボランティアを必要としているところが多種にわたっていることを知ることが出来た。地域貢献メニューを広げていきたい。

ボランティア相談コーナーにご相談ください!

あなたにもできる
ボランティア

開設日 毎月 第1・2・3火曜日 13時~15時
【時間内は出入り自由 祝日除く】

場 所 福祉パルあさお フリースペース
※第1火曜日のみ麻生区役所ロビーでの出張開催

ボランティア希望者(したい人)とボランティア依頼者(して欲しい人)が気軽に相談をできる場所です。

直近の実施日

- ・平成31年 2月 5日 12日 19日
- ・平成31年 3月 5日 12日 19日

お気軽に
お越しください!



ほほえみ

今年度の広報誌「ほほえみ」は、
年3回(7月1日号、11月1日号、2月1日号)発行いたします。
福祉に関する地域の情報など、広報誌に掲載する記事を募集しています。

QRコードは
こちら➡



【問合せ】社会福祉法人 川崎市麻生区社会福祉協議会

TEL.952-5500 FAX.952-1424 E-mail info@asao-shakyo.com

麻生区社協

検索